



# 学校だより

名古屋市立

高針台中学校

R5.9.7 NO.5

## ☆ 2学期始業式

9月1日に行われた、始業式での校長講話をご紹介いたします。講話中、動画と資料の紹介をしました。QRコードを記載しましたので、是非ご覧ください。

みなさん、1学期の終業式で私から「自分で決めて取り組むことをしてください」という話を実践できましたか。人からの指示ではなく自分の判断で行動することは難しいかもしれませんが、自分の思いを大切に行動することは大切です。あなたが自分らしく過ごすことができるように、先生たちやwith youの人たちはあなたの思いを尊重していきます。何かあれば、学校に限らず相談機関でも構わないのでいつでも相談をしてください。待っています。

さて、今日9月1日は2学期の始業式ですが、100年前の1923年、関東大震災が起きました。死者・行方不明者数が東日本大震災のおよそ5倍の10万人以上といったこの大きな災害を忘れないようにと、9月1日は防災の日となっています。そこで、今日は防災について話をします。

私は、これまでに地震は何度も体験をしていますが、直接的な被害を受けたことはありません。そこで、東日本大震災について学びたいと考え、3年前現地へ直接行ってきました。訪問した場所は、仙台市にある荒浜小学校という津波の被害に遭った学校です。被災の痕跡を鮮明に残す校舎と、被災直後の様子を示す展示等がされていて、津波の威力や脅威を実感できる場として公開されている学校です。



公開されている内容が分かる動画があります。こちらを見てください。【荒浜小動画】

この荒浜小学校は、海からおよそ700m離れていますが、当時2階のフロアの40cmまで津波にのみ込まれてしまいました。1階はがれきが流れ込み壁は壊され天井は無残に剥がれ落ち、2階のフェンスは大きく曲がっていました。

資料として掲示されていた震災前の荒浜小学校の写真を見ると、学校の海側にはたくさん住宅が建ち並んでいました。しかし、私が行ったときには建物は一切なく一面荒れ地となっていました。津波が一瞬にして町の人たちの生活を変えてしまった現実を目の当たりにして、自然のもっているすさまじいパワーに恐ろしさを覚えました。改めて災害を自分事として考えなければならぬと実感しました。

みなさんが住んでいるこの高針台中学区では、市内でも標高の高い位置にあるため荒浜小学校のような津波や河川の氾濫する恐れはないですが、名古屋市から出されている地震ハザードマップでは液状化の可能性の高い地区、内水氾濫ハザードマップでは浸水区域で、それぞれ該当する場所があります。

名古屋市のホームページにある「なごやハザードマップ防災ガイドブック」という箇所、様々な種類のハザードマップが掲載されているので、ぜひその内容をお家の人と確認してください。そして、災害に備えた備蓄品の確認、指定された避難所の確認、さらには近所で避難所に行くことが困難で手助けを必要とする人の確認などをぜひしてもらいたいです。



【ハザードマップ】

先程の映像のように、災害が起きたときはすぐに行動を起こさなければなりません。そのためにも、何もない今だからこそ対策を考えることができますと思います。今日この後行われるの引き渡し訓練は、今できる対策の一つです。

災害時では、家族そして地域の人を守る中心となるのは、中学生のみなさんです。学校の南側に掲示してある「地域とともにある高針台中学校 助け合いの輪を広げよう」とは、まさに災害時のみなさんのことです。

防災の日である今日、改めて防災についてじっくり考える日としてもらいたいです。

☆ 文部科学大臣からのメッセージ

先日、2学期がスタートするにあたって、文部科学大臣よりメッセージが届きましたので、ご紹介させていただきます。

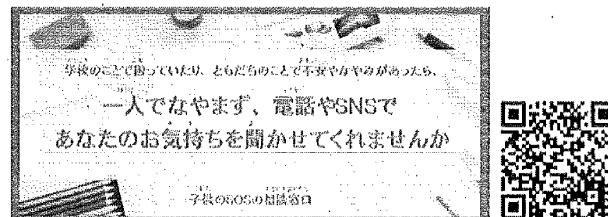
中学生・高校生のみなさんへ  
～不安や悩みを話してみよう～

夏休みが明け、みなさんはどんな気持ちでしょうか。進路の問題で悩んだり、お父さん、お母さんなどご家族との関係、あるいは友人関係などで、不安や悩みを抱えている人はいませんか。

みなさんだけでなく、誰にでも悩みや不安はあります。悩みや不安を一人で抱え込まず、家族、先生、スクールカウンセラー、周りの友達など、信頼できる人にあなたの悩みを話しませんか。話を聞いてもらうだけでも、心がすっと軽くなることもあります。

周りの人に相談しづらいときは、電話やメール、ネットで相談できる窓口もあります。人に相談することは決して恥ずかしいことではなく、生きていく上でとても大切なことです。以下で紹介している相談窓口では、いつでもあなたの悩みを聞いてくれる人がいます。

もし、あなたの周りに元気がない友達がいたら、積極的に声をかけて、信頼できる大人につないでください。また、自分や友人が悩みや不安を抱えたときに相談できる機関として身近なところにどのようなところがあるか調べてみましょう。



[https://www.mext.go.jp/n\\_mamu/shotou/seitoshidou/08112210.htm](https://www.mext.go.jp/n_mamu/shotou/seitoshidou/08112210.htm)

令和5年  
文部科学大臣 永岡 桂子

相談窓口については、生徒手帳のP29、38、39にも記載されていますので、何かあった時は、遠慮せずに相談するようにしてください。

また、ご家庭で何かお気づきのことがありましたら、学校（703-5121）までご連絡ください。